

(補足資料)

当団体の紹介と本取組についての補足

認定 NPO 法人フードバンク湘南 理事長 大関めぐみ

当団体は、2017年に主婦1人が「困っている人の為に」「おたがい様の気持ちで」という思いをもち、立ち上げた NPO 法人です。

企業や一般家庭などから、まだ十分に食べることができるのに廃棄されてしまうはずの食品の寄付を受け、その食品を特に生活が苦しいとされているひとり親家庭や行政などから依頼のある、支援を必要とされる方に無償で提供する活動をしています。

当初「フードバンクひらつか」という任意団体でしたが、2018年に NPO 法人となり、2022年には活動範囲が広がってきたため、団体名を「フードバンク湘南」と改め、神奈川県認定 NPO 法人として認証を受けることができ、現在はボランティア 30 名で活動しています。

行政などから食料支援依頼はあるものの、運営資金の援助はなく完全な独立系の団体の為、立ち上げから 2 年程で活動資金、寄付食品、人員の見通しが立たず活動継続が困難な状況となりました。そうした中で、食品ロス対策で交流のあった平塚市環境部環境政策課より市民提案型協働事業について助言やヒントをいただき、無事審査に通り本取組が実現いたしました。

システム導入の効果

(四方よしの取り組み)

① フードバンク湘南の活動の安定化（寄付食品、寄付金、人員）

- ・食品の在庫管理の効率化で時間を生み出し、PR 活動を増やすことができたことによりボランティアや協力者が集まるようになりました。
- ・寄付食品の管理体制をアピールできるようになったことで法人としての信用が高まり、企業の協力の輪が広がり、多くの食品や寄付金が集まるようになりました。

② 支援が必要な方（貧困問題）

- ・多くの寄付食品が集まるようになったことで、安定した食料支援ができるようになりました。

③ 企業（食品ロス対策）

- ・フードバンクへの食品提供が税制上も全額損金処理ができることにより廃棄コストの削減につながりました。
- ・SDGs の取り組みに関われることで、企業イメージがあがりました。

④ 行政（環境問題・貧困問題）

- ・行政として SDGs に関わることで環境問題の解決につながりました。

フードバンクに特化したシステム

- ・このシステムは、システム制作会社（株式会社アクアライフ）と話し合いを何度も重ね、フードバンクに特化したシステムになっているため、一般的な在庫管理システムとは違い、寄付先～支援先までの流れ（トレース情報）が分かるようにしました。
- ・高齢のボランティアも多いため、誰でも簡単に操作ができるような仕様になりました。
- ・企業の損金算入にも対応できるので、企業に求められた場合、内容に沿った寄付証明書を提出することができました。
(平塚市内の食品会社 1 社がシステムによる寄付証明書で損金算入に使用している→使用料として寄付金をいただきました。)

【システム導入前 2020 年以前と 2021 年以降の比較】

■ 寄付食品受け入れ量（単位トン）

2019	2020	2021	2022	2023
8.4	23.5	35.1	41.6	40.1

■ 寄付金（単位万円）

2019	2020	2021	2022	2023
115	149	480	664	800

■ 支援数（延べ世帯数）

2019	2020	2021	2022	2023
981	2,072	2,360	4,352	5,136



災害時に簡単に在庫管理ができるシステムとして導入された。



廃棄されるはずの食料がフードバンクに寄付されれば、お互いが win-win な関係となり持続可能な取り組みになると考えるため、より一層、支援をお願いしたい。このシステムには、そのような希望も込められています。

デジタル化で安心・安全に持続可能なフードバンク活動をサポート

地元団体の連携とご協力をもとに開発された本システムは、現場が必要とする機能・工夫を凝らして搭載しフードバンク活動に関係する方々の煩雑な作業工程を効率化します。トレーサビリティに対応した「フードバンク業務管理システム」の導入により、持続可能なフードバンク活動を安心・安全に、推進していくことが可能になります。

※ **緑枠部分** がシステムの管理範囲です。

